

図書館だより

目次

読書の楽しみ	
～自らの読書経験を振り返って～	1
データベースのご紹介	2～3
インフォメーション	4



読書の楽しみ —自らの読書経験を振り返って—

図書館長 埴 和明 (子ども学部教授)

今年度、図書館長という役職を仰せつかった誼(よしみ)で、「図書館だより」の巻頭言を執筆することになりました。考えてみると自分の読書体験をあらためて思い返すなどという機会はそれ程あるとは思えませんので、思いがけず、良い場を提供してもらえたと感謝する次第です。

さて、私の育った読書環境から考えてみたいと思います。私の父親はしががない新聞記者でした。一応、全国紙の記者ではありませんでしたが、購読部数はA社、Y社に次いで第3位、母親の愚痴らしきものから幼心にM新聞は給料が安いと漠然と感じ取っていました。意外に子どもの頃はこうしたつまらない記憶が残ってしまうものなのかも知れません。なお、新聞社の現在の状況がどうなのかは知る由もありませんので万が一、今風の言葉でいう「ジャーナリスト」の道を志望するような人はご自分で確かめて下さい。

さて、読書の話しに戻しますと、生来、父は読書が好きでした。それで、多少は文筆に関われる仕事に就いたのかも知れません。従って、自宅には、文学全集の類の書棚が階段下に何列にも並べられていました。世界文学全集やら日本文学全集やら、子どもたちのためには少年少女文学全集などがギッシリと詰まっていた記憶があります。ただ、幼い頃の自分にとってそうした本がどのような価値があるのか、本を読むということがどのような意味を持つかなどを考えたことは一度もありません。むしろ、階段下の書棚で埋め尽くされた狭い空間は子どもにとって「秘密基地」のような役割を果たしていました。書棚から一冊ずつ何冊かの間を開けて引き抜いてはまた差し込み、それが飛行機やら、潜水艦やらはたまた宇宙船やらの操縦席の計器のスイッチに見立てて自分の世界に浸っていた思い出があります。ただ、一つだけ役に立ったことといえば、後年、国語や現代文、文学史や古文などの授業の際に、書物の背表紙に書かれた作家の名前や代表的な作品名が頭の中に甦り、大体の作品はすぐにわかりました。

このような環境でしたので、書店で本を購入することに関しては両親ともに寛容だった気がします。好きな本があったら近所の書店で「はなわですが、つけといて下さい。」と言って、自由を買って構わないと聞いていたのですが、「つけ」というもの自体が子どもには理解できないし、書店で何でお金を払わないのに品物を渡してくれるのが不思議で、小学校高学年になって初めて、自分一人で書店で買うまでは母親同伴で好きな本を買うのがやっとという有様でした。

こうして、初めて自分一人で購入したのが、児童文学者の今江祥智さんの「海の日曜日」という単行本でした。はっきりとは覚えていないのですが、多分、この本は当時の小学生の読書感想文の課題図書の中の一冊になっていたのではないかと思います。宇野亜喜良さんの幻想的なイラストが印象的に残っているのと、夏の暑いなかで、感想文の書き出しに苦慮した結果、何で海に日曜日があるのか云々と書いた記憶があります。

今だったらもっと気の利いた書き出しをするとは思いますが、書き出しの文章の候補のなかに今も結構上位で入ってくるような気がして成長のなさを感じているところです。

この頃から、何となく自宅にある少年少女児童文学全集を読むことにも興味を覚えるようになりました。それまでは全く関心がなかったのですが、多分、自分一人で初めて本を購入したということがきっかけだったような気がします。こうした児童文学作品を読み進めていくうちに、確か「ドリトル先生航海記」(ヒュー・ロフティング作)だったと記憶しているのですが、本を読んでいる途中で、自分の目から涙が出ているのに気づきました。もちろん、感動しての涙だったわけですが、それまで兄弟ゲンカや父に叱られての涙は沢山、流していましたが本を読んで涙が出る現象自体が自分にとって生まれて初めての経験で、その理由はしばらく謎のままでした。

中学に入ると、読書も児童文学から大人向けの文学に替わりつつありました。そのなかで、印象的で今でもその後遺症?が残っているのが、北條民雄の「いのちの初夜」という作品でした。この小説は、当時の文学全集の川端康成集のなかに掲載されていたと思います。川端康成の作品を読むなかで、この北條の「いのちの初夜」を読んだ時の驚きは忘れることができせん。ライ病(ハンセン病)という当時は不治の病といわれた病気に侵された主人公が東村山にある多摩全生園に入所したその晩のことを克明に記述した小説です。人間が人間として生きることを意味するライ病に侵された主人公が生々しくも客観的に描いたもので、川端に見いだされて、後に「文学界」で絶賛されることになった作品でした。

この小説を読んだ後、このライ病(ハンセン病)というもの自体にも興味、関心が起こり、いろいろな書籍を読み漁りました。偶然、19歳の春頃、上京後、初めて渋谷の映画館で隣の彼女とともに鑑賞したのが、松本清張原作の「砂の器」という映画でした。この原作は中学生の頃に父親に借りて既読していましたが、野村芳太郎監督が脚色して、ライ病(ハンセン病)の父子が全国を流浪の旅をしていくという叙情豊かな作品に仕上がっていました。この病気や後に私の研究のテーマとなる「障害者」にとって、社会との関わり、そこにある隠然たる差別や偏見といった人間の業(ごう)は思考の根底を形成するものとする契機となりました。毎年、春になると今は塀や柵から解放された多摩全生園の桜並木を歩きながら、いつもこのことを思い返しています。興味、関心のある方は隣接する国立ハンセン病資料館も訪ねてみて下さい。

以上、私の若い頃の読書体験を綴ってきました。本来ならば、大学時代の読書体験も書くつもりでしたが、20数年間をここにあらわすことはできないので、子ども学部の教員らしい内容になってしまいました。最後にひとこと、読書はその人のその人の考え方や人生などを左右するかも知れない出会いになることもあります。機会があったら是非、良い本と巡りあって下さい。

データベースのご紹介

図書館の資料には、図書、雑誌、新聞、DVDなどの視聴覚資料のほかに、図書館内の指定されたパソコンからオンラインで利用できるデータベースや電子ジャーナルがあります。データベースは、百科事典や辞書類の検索、新聞や雑誌記事・論文の検索、ビジネス情報の収集などができ、学習・研究のほかに就職活動に役立てられます。

操作方法については各パソコン台に備えてありますが、わからないことがありましたらレファレンスコーナーの係員に声をかけてください。

○百科事典

Japan Knowledge Lib (ジャパンナレッジ Lib)

<同時アクセス制限：1> *館内検索パソコン1~4

辞書・事典を中心とした50種類以上のコンテンツを搭載した「知りたいこと」にいち早く到達するための総合データベースです。

『日本大百科全書』『古事類苑』『日本国語大辞典』『大辞泉』『現代用語の基礎知識』、英和・和英辞典のほか、各外国語辞書、東洋文庫などの叢書まで、あらゆる項目の一括検索と全文閲覧が可能です。また、コンテンツは定期的に更新され、常に最新の知識が閲覧できます。



○新聞記事(日本語)を探す

聞蔵Ⅱビジュアル (キクソウⅡビジュアル)

<同時アクセス制限：1> *館内検索パソコン1~4

朝日新聞の全地域面を収録(沖縄を除く)した全国各地の出来事も検索可能な記事データベースです。

紙面イメージや切り抜きイメージなどの「ビジュアル的要素」を搭載しており、明治12年の創刊号から今日までの130年を超える紙面から記事・広告約1350万件が検索できます。また、週刊朝日、AERAも収録しており、人物データベースや歴史写真アーカイブ、アサヒグラフ、現代用語事典「知恵蔵」も検索できます。



○新聞記事(日本語)を探す

ヨミダス文書館 (ヨミダスブンショカン)

<同時アクセス制限：1> *館内検索パソコン1のみ

1986年9月以降の読売新聞の全国各地の地域版(沖縄を除く)が検索・閲覧できる記事データベースです。

検索結果は、テキストで表示されますが、2008年12月以降の記事は「切り抜き紙面」が付いています。

このほか、読売新聞社が発行している英字新聞と邦文記事との読み比べが可能(2011年8月~)です。

また、現代の国内外のキーパーソン(一部故人を含む)の人物詳細データから、同人物に関する記事検索もできます。



○新聞記事(日本語)を探す・ビジネス情報を調べる

日経テレコン 21 (ニッケイテレコン 21)

<同時アクセス制限：2> *館内検索パソコン1~4

1975年以降の日経四紙(日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞、MJ、日経金融新聞)の記事検索が可能なほか、企業情報、人事情報、株価・債権、経済統計など経済やビジネス分野における不可欠な情報も多数収録しているビジネス情報データベースです。

また、日経BP社の発行するビジネス誌や専門誌のバックナンバーの記事検索もできます。



○雑誌記事(日本語)を探す

CiNii (サイニー)

<フリーアクセス> <http://ci.nii.ac.jp/>

様々な学会発行の学術雑誌・大学等研究機関発行の紀要などの記事検索ができます。

タイトル・著者名・掲載誌などの書誌情報のほか、論文の内容を要約した抄録・アブストラクト、PDF ファイルなどで本文が読めるものもあります。



○雑誌記事(日本語)を探す

magazineplus (マガジンプラス)

<同時アクセス制限：1> *館内検索パソコン1~4

一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙まで収録した国内最大規模の雑誌記事(書誌)データベースです。国立国会図書館(NDL)の「雑誌記事索引」を収録するほか、学会年報・論文集や一般誌、地方誌なども収録されています。



○雑誌記事(海外)を探す・ビジネス情報を調べる

ABI Inform/Complete

<同時アクセス制限：無制限> *学内限定

<http://search.proquest.com/>

ビジネストレンド、マネジメント技術、企業戦略、業界動向などビジネスに関するあらゆる分野について、学術誌、学位論文、ワーキングペーパー、主要なビジネス・経済定期刊物(Economist など)、国別および業界別レポート、ダウンロード可能なデータを網羅したデータベースです。



ログアウトを忘れないで!

フリーアクセス以外のデータベースのご利用を終える際は、「ログアウト (LOGOUT)」をクリックしてからウィンドウを閉じて下さい。

ログアウトボタンの位置は、データベースによって異なります。詳しくは、備え付けのマニュアルをお読みいただくか、カウンター係員におたずね下さい。

ログアウトせずにウィンドウを閉じると、一定時間アクセスができなくなりますので、ご注意下さい。



平成26年度 学生選書ツアー 開催報告

学生の皆さんと本屋さんに行って、 図書館に置く本を選んできました!

6月18日水曜日、応募してくれた13名の学生の皆さんと、紀伊国屋書店新宿南店に行ってきました。開催日は、梅雨のシーズンでしたが、当日は幸いにも雨に降られずに本屋さんまで辿り着くことができました。

6フロアからなる広い本屋さんで、本を直接手にしながら、「自分が読みたい」「友達に薦めたい」図書館に置いて欲しい本を選んでもらいました。

選ばれた本は、全部で294冊、そのうち、すでに図書館にある本を除いて、243冊を購入しました。

参加してくれた学生の皆さん、ありがとうございました!



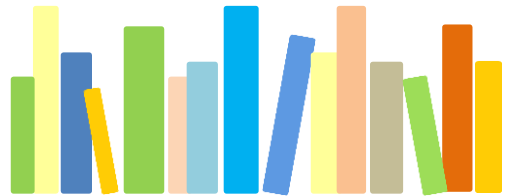
展示のお知らせ

「学生選書ツアー報告展示」

今号の「図書館だより」3面でもご報告しました「学生選書ツアー」で購入した本に、参加してくれた学生の皆さんのおすすめコメントPOPを添えて、展示を実施します。もちろん貸出もできます！この夏休みを利用して、普段は手を出さないジャンルの本にも、チャレンジしてみませんか？

期 間： 2014年7月下旬～9月30日（火）

場 所： 図書館1階 展示コーナー（エレベーター前）



「絵本ミニ展示」

図書館1階絵本コーナーでは、季節に応じたテーマの絵本を集めて「ミニ展示」を行っています。

たくさんの絵本の中に埋もれていて、普段は隠れてしまっている絵本たちが、かわりばんこに主役に躍り出しています。幼稚園・保育所実習などでの読み聞かせの絵本を選ぶ際の参考にいかがですか？

今後も様々なテーマで絵本を集めてみたいと思いますので、是非注目してみてください。

2014年度 前期のテーマは…

☆4月

ともだちたくさんできるかな？「ともだち」の絵本

☆5月～6月上旬

ピクニック、遠足、お散歩…「おでかけ」の絵本

☆6月下旬～7月上旬

雲の向こうにある夜空…「星」の絵本

☆7月下旬～9月（予定）

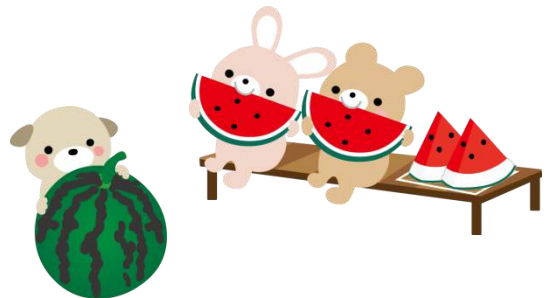
絵本の海にもぐろう！「海」の絵本

夏季休業中の図書館利用について

図書長期貸出について

夏季休業中は、以下のとおり特別長期貸出を実施いたします。

- 実施期間： 2014年7月28日（月）～9月11日（火）
- 返却期限： 2014年9月26日（金）



開館スケジュール

* 変更される場合があります。HPや掲示板をご確認ください。

8:50～19:00							8:50～14:00							9:00～17:00							休館						
7月							8月							9月													
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7							
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14							
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21							
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28							
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30												